

洞爺湖芸術館 第8回 町民ギャラリー

川井 美穂子・安藤 百合子 藍染 & 組み紐 展



2016. 5.20(土) ▷ 6.4(日)

1階町民ギャラリー室にて

【開館時間】

10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

※6月 は 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

【期間中の休館日】

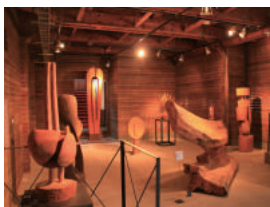
5/22 (月)、5/23 (火)、5/29 (月)

【入館料】

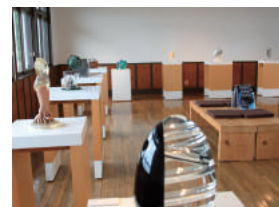
一般 300 円、高校生 200 円、小中学生 100 円

※洞爺湖町民 無料 (その他割引あり)

常設展示



砂澤ビッキ彫刻作品



国際彫刻ビエンナーレ作品



洞爺湖芸術館

TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802

北海道虻田郡洞爺湖町洞爺町 96 番地

TEL & FAX 0142-87-2525

<http://www.geijutukan.net>

川井 美穂子・安藤 百合子 藍染&組み紐 展

川井さんは北海道に移住後、伊達市で藍染と出会いそのとりこになったとのこと。日本的な藍染の渋さを大胆な絵柄を用いて現代的な作品に仕上げています。

また、遺作展である安藤百合子さんの組み紐は「組紐道豊縄流」で編んだもの。日本の伝統工芸の素晴らしさを改めて鑑賞していただけたと思います。



のれん「水辺にたわむれる蝶」

川井 美穂子 プロフィール

十勝出身。広々とした十勝平野でのびのびと育つ。東京で化粧品会社に勤務の後、将来は広い北海道で住みたいと夫と共に札幌に移住し仕事に従事。定年後、豊浦に移住し現在に至る。伊達市で藍染と出会い、藍のジャパングルーに魅せられ藍染に取り組む。(芸術館友の会会員)



のれん「手ぬぐい合わせ」(部分)

安藤 百合子 (1928~2016) プロフィール

昭和3年洞爺湖町(旧洞爺村)生まれ。室蘭の女学校卒業後、北海道庁で保健師として働く。若い頃から、洋裁・手芸等手先が器用。60歳を過ぎてから札幌の着付教室(小林豊子きもの学院)に自ら運転して通う。やがて学院で「組み紐」に魅せられ、組紐道豊縄流教授の資格を取得し、平成5年12月に札幌と洞爺に教室を開く。美しい組み紐の作品を数多く残し、平成28年1月逝去。

出展者(五十嵐 優子)からひと言
絹糸1本1本に、自身の人生の想いを重ねて組み込んだ母の作品。そのひとつひとつにその想いの輝きを感じとっていただけたら幸いです。

